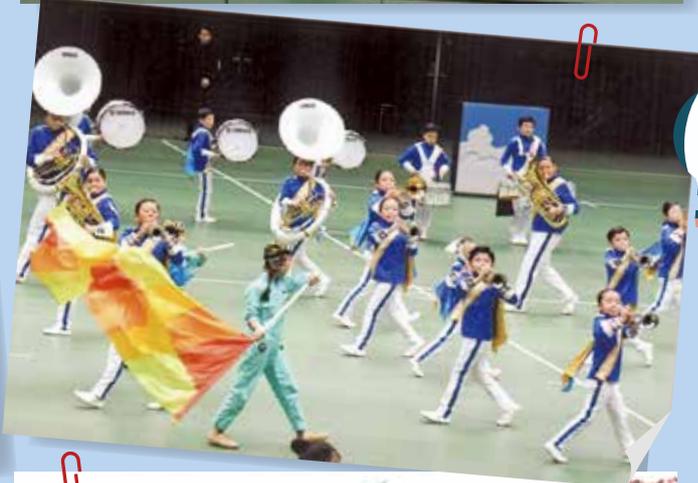


市議会だより 第139号



日隈小学校金管バンドのみなさん

もくじ

- 第4回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 4
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 5～P 14
- 各委員会の議案等の審査結果、議会の動きなど … P 15～P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18



■議案第79号（賛成討論）

本年3月定例会時点とは異なり、今回の提案は代表者会議と市や関係機関とで協議を重ね、基本設計が地域住民と協働で作成された内容となっていると考える。

また、中津江振興協議会からホール解体に同意するという意思が表明されているように、ホール解体についてはやむを得ないと考える。

災害復旧という観点からは、少しでも早く、そして利用しやすい施設の再建が地元住民や利用者の方たちの願いであり、早期に事業をスタートさせる必要性を感じることから賛成するもの。

■議案第79号（反対討論）

本年3月定例会において議会から意見があったにもかかわらず、当初提案とほぼ同様の計画となっている。また、提案の時期についても3月定例会時と整合性がとれない。

高齢者施設等の工事着手は、予定では令和5年度とされており、計画エリアの状況は令和4年度中も現状のままであることが想定されることから、廃止の施行日を来年度当初とすることについては検討の余地がある。

関係地域住民の意見も様々で、まだまだ地元住民への丁寧な説明が必要であり、議会の指摘事項に対する真摯な検討を再度求めることは、議会の役割であると判断することから反対するもの。

■議案第79号（賛成討論）

中津江地区では、中津江ホールの解体を前提とし、地域住民と行政とが一緒に中津江の高齢者生活福祉センター安寿苑の基本設計案を作成しており、今年3月定例会の段階で欠けていた地域住民の合意形成や意見集約が、一定程度図られたと判断する。今回、地域住民と行政が共に作り上げた基本設計を土台とする実施設計を行うために、中津江ホールを解体せざるを得ないという結論は理解でき、地区振興協議会の総意として事業に同意し、早急な施設整備を求める多くの中津江地区の住民の意向を尊重したく賛成するもの。

■議案第79号、88号（反対討論）

4月から11月までの間、担当部署内部での内部協議のみで粛々と事業計画を進める古めかしい手法は、日田市自治基本条例に示された情報公開と情報共有を前提とした市民参画と市民協働を全く度外視するものである。今回の整備事業計画は、かねてより行政が犯してしまった箱物づくりの公共事業と同様に進められている。

専門性の高いホールマネージメントの発想や実践がない中で、利用者が減少したことを解体理由とすることに納得できないことから反対するもの。

■請願第3号（反対討論）（原案に反対）

中津江の安寿苑は被災後、中津江ホール敷地内に移転を予定し、合わせて上・中津江のこども園も危険区域内にあることから、関係者、保護者の同意を得て統合意見が承諾されている。今後も高齢化が進む地域の中では、ホールの利用実績の増大は難しいと推測されること、ホールを残したまま、こども園と高齢者福祉の二つの施設を整備することは、施設利用者の安全性、利便性、緊急時の対応等々の課題があり、快適な施設環境となれないと考えることから反対するもの。

■請願第3号（賛成討論）（原案に賛成）

お任せ民主主義を逆手に使いながらの整備計画の進め方や、住民自治組織や代表者会議に任せてしまうのではなく、市民自らが計画に自発的に関わりたい、参画したいという思いを市政に反映していくことが必要であり、そうした市民の願いを後押しすることが議会の役割だと考えることから賛成するもの。

令和3年 第3回臨時会の結果

去る令和3年11月5日に開かれました臨時会の結果をお知らせします。

■臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第78号	令和3年度日田市一般会計補正予算（第6号）	原案可決（全会一致）
認定第1号	令和2年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
認定第2号	令和2年度日田市公営企業会計決算の認定について	//



令和2年度 決算の概要

9月定例会で付託された令和2年度一般会計決算認定のほか、特別会計、公営企業会計について、10月に決算審査特別委員会で審査をしました。

11月5日に臨時会を開催し、決算審査特別委員長から審査内容の報告の後、採決を行った結果、「認定」となりましたので、その概要をお知らせします。

使われたお金（一般会計歳出決算額）
474億16万1千円

特別会計歳出決算額 170億5,283万1千円（7会計分）

●普通会計における財政分析の状況

区 分	令和元年度 指数等	令和2年度	
		指数等	順位
財 政 力 指 数	0.406	0.412	7 位
経 常 収 支 比 率	95.3%	93.1%	4 位
実質公債費比率	4.6%	4.1%	2 位

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部を合わせたものです。

※順位は、県下14市中です。

●審査日程

10/11(月)：全体会

・総括質疑

10/11(月)～19(火)：分科会

・実際の審査

10/25(月)：全体会

・分科会長報告

・質疑

・討論

・委員会としての採決

●水道・下水道事業

水道事業	執 行 額
収益的収入	14億1,197万8千円
収益的支出	13億765万5千円
資本的収入	2億2,438万7千円
資本的支出	6億679万4千円

下水道事業	執 行 額
収益的収入	20億3,194万4千円
収益的支出	19億9,979万8千円
資本的収入	9億8,757万3千円
資本的支出	14億860万円

※決算額や各指数の詳細は、広報ひた令和3年12月1日号（6～9ページ）に掲載されていますので、そちらを参照してください。

●11月5日(金)に臨時会を開催しました

例年、9月定例会で付託された決算認定議案については、審査に時間を要することから継続審査とし、12月定例会で審査結果の報告、認定するかどうかの採決を行っていました。しかし12月定例会では、市において新年度予算の編成作業が本格化している時期であるため、審査結果を反映しづらいのではないかと懸念から、少しでも早い時期に報告を行うため、臨時会を開催したものです。

●決算審査特別委員会委員長報告の概要

新型コロナウイルス感染症対策として、一人当たり一律10万円の支給を行った特別定額給付金事業や中小企業等賃料補助事業などの経済対策、また、令和2年7月豪雨災害からの復旧事業などにより、歳入歳出いずれも前年度と比較して大幅に増額した決算となっています。このような中、コロナ禍における支援、対策をはじめ、通常の事業においてもより効果的な施策となるよう、22項目について要望し認定しました。また、水道・下水道事業においても計画的な老朽管の更新等を要望し、同様に認定しました。



市政に反映 皆さんの声



令和3年第4回定例会では、12月7、8、9日の3日間にわたり一般質問が行われ、16人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【一般質問】

乗合タクシーに代えた効果



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 乗合タクシーの利用者数と財政負担が、廃止バス路線と比べてどのように変わったのか。

部長 令和2年度に市内のバス路線のうち7路線を廃止し、乗合タクシーを導入した。令和元

年度のバス利用者は約1万1千人。バス路線廃止後に導入した

乗合タクシーの令和2年度の利用者は約7千人に減少。令和元

年度のバスの財政負担額は約2千万円。令和2年度の乗合タクシーの財政負担額は約670万円に減っている。

質問 大野線に代わる乗合タクシーの利用者が他の路線と比べて多い理由は、帰り便を当初計画の2便から3便に増やすなど、住民要望に柔軟に応えたことにあるのではないか。

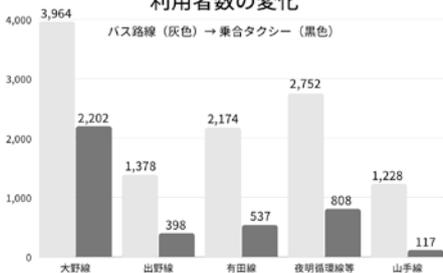
部長 病院や買物に行くときに利便性が良いという声が届いている。

質問 住民の様々な要望に応えるために、地域座談会を継続的に開催すべきではないか。

部長 来年度、新しい地域公共交通計画をつくる予定。定期的な地域座談会やアンケートで地域の声を盛り込んで計画する。

利用者数の変化

バス路線（灰色）→乗合タクシー（黒色）



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。





【一般質問】

政治参加を促す
主権者教育は
どのようにしているか



市政クラブ
財津 幹雄 議員

質問 本市の小中学校ではどのような主権者教育をしているか。
教育長 小学6年生の社会科で、国の政治の仕組み、選挙の仕組み、投票することで政治に参加し主権者として意思を反映させることを、また、中学3年生では基本的人権と個人の尊重、公共の精神と社会参画の意識の醸成を図り、生徒会で物事を話し合いで決めること、それをみんなが守ること、役員を選挙で選出することなどで主権者の意識を持つように指導している。
質問 投票率を向上させるためにどのような取組をしているか。
事務局長 本市で実施した選挙では概ね60%台の投票率で推移している。投票を促す取組として、市報やホームページでの広

報、チラシの全戸配布、防災ラジオ等で期日前投票などを行っている。斉放送等を行っている。
質問 小中学校ではどのような取組をしているか。
事務局長 県と市の選挙管理委員会「選挙出前授業」を行い、実際の投票箱やその他の選挙道具を使って、興味を持ってもらう取組をしている。



投票は政治参加への第一歩

【一般質問】

「子ども支援の拠点」づくり
について議論を交わす！



無所属
中野 哲朗 議員

質問 市長の選挙公約である「総合的な子ども支援拠点」の素案が示された。4月に設置された子ども家庭相談室の役割の一つに、児童福祉法を根拠とする「子ども家庭総合支援拠点」があるが、それとの機能の整理はできたのか。
市長 基本的な方向の取りまとめはできていると思う。ただ、具体的な現場づくりはこれから詳細を詰めなければならぬ。
質問 同じような機能を持つと思われる窓口をもう一つ設置し、二重に人員を配置することにならないかとの懸念があるが、見解を伺う。
市長 具体的な位置の問題があると思う。今ある子育て支援の質、機能がもっと上がると考え

てもらう方がよい。
質問 子ども支援は、福祉保健部が所管する事業だが、教育委員会においても、当事者意識を持った自発的な取組が必要と考えるがいかがか。
教育長 福祉のみではなく、学校、教育委員会が一体となって相談あるいは支援に取り組みなければならぬと思っている。
質問 この他、地域医療について質問した。



市役所1階の子ども家庭相談室



【一般質問】

住む安心を高めるために



市民クラブ
梶原 信幸 議員

質問 新型コロナウイルスワクチン接種の副反応の相談への市の対応を伺う。

部長 かかりつけ医への相談を勧めるとともに、県では副反応等専門相談窓口、市でも庁舎3階に接種相談窓口を設置し対応している。

質問 3回目接種に対する市の対応を伺う。

部長 現時点では、2回目接種完了から8か月経過した18歳以上を対象とし、集団接種会場はパトリア日田を予定している。

質問 3回目のワクチン接種間隔を前倒しする予定はないか。

部長 国の方針が示され次第、即座に対応できるよう準備を進める。

質問 年末年始の会食について

市長から市民向けにメッセージをお願いしたい。

市長 7つのマナーを守っていただきながら、できる限り少数でもいいからやってもらいたい。お店には県や市の補助事業を活用し市民が安心して利用できる環境づくりをお願いしたい。
質問 この他、認知症施策の推進、萩尾公園の総合的な整備について質問した。



3回目の接種始まる

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。





【一般質問】

天瀬住民の移転について



市政クラブ 岩見 泉哉 議員

質問 河川改修工事計画では、

住民が移転をしなければならぬ計画となっている。市として移転を強いられる方々に対する相談支援や助成があるか。

部長 県が河川改修計画案を、6月に地域に説明した。約30軒の家屋が影響を受けると見込まれている。移転地などの情報を含め県と連携を図り住民に寄り添った対応に努めていく。

質問 天瀬には移転の土地が少ない。あまがせ保育園跡地、その隣の駐車場の一部、消防署跡地等の活用はできないか。

部長 概略設計が確定後には市有地の対応も行いたい。

質問 天瀬住民の方々は苦渋の決断をしなければならぬ。しっかりと寄り添った対応を望む

が市長はどう考えるか。

市長 地域の住民の方々が流出することがないように考えている。公有地を最大限に地域に還元する形で利用してもらええる方向で話しを進めていければと考えている。

質問 この他、農業振興について、東京オリンピックの選手村で使用した木材の返還について質問した。



改修計画の策定が進められる明珠川

【一般質問】

今後の観光振興策と中津江ホール敷地の施設整備



市政クラブ 佐藤 功 議員

今後の観光振興策

質問 今後の天領まつりは、コロナ禍で実施された今年度のように、分散型のイベントとして見直してはどうか。

部長 分散型での実施は市内周遊と滞在の延長につながったので、関係団体と協議し判断する。

質問 水上スポーツを観光資源とするため、亀山公園に繋がる庄手川左岸を整備してはどうか。

部長 早々に内容を詳しく聞き、国と整備手法も含め相談したい。

質問 観光「鮎やな」の設置ができていない。市も出資者として対応が必要ではないか。

部長 夏場の貴重な観光資源であり設置に向けた支援については考えていきたい。

行事への支援を、水郷ひた応援基金の対象項目にしてはどうか。

市長 具体的な目的への寄附はわかりやすい。項目を設けたい。
中津江ホール敷地内の施設整備
質問 令和3年3月定例会での予算否決理由の一つであったホール活性化に関する検討はどのように行われたのか。

教育次長 ホールを解体し施設整備を行うと判断したので具体的に検討する状況にはなかった。

質問 ホール存続を望む声が施設整備を遅らせているのではないことを明確にしてもらいたい。

部長 計画と設計が曖昧との指摘を受け内容をしっかりと詰めてきたので今に至っている。





【一般質問】

市民参画・市民協働の
まちづくり
市職員の人材育成について



市政クラブ
高倉 貴子 議員

質問 参加ではなく参画をあえて唱えた自治基本条例を有するものの、市民参画・市民協働のまちづくりが進んでいるとは到底思えないが。

部長 ご指摘のとおり市民意識の醸成は十分ではない。

質問 自治基本条例推進事業には外部評価が欠かせないのでは。

部長 検討していきたい。

質問 住民自治組織は外部評価されているのか。

部長 設立後、間もないため見守っているが、外部評価はできていない。課題は一部の住民だけの参加で留まっていること。

質問 交付金800万円の活用状況と波及効果、また、人件費の割合は。

部長 中津江は2名雇用分で81

・9%。上津江は2名雇用分で73・7%。地域リーダーを育成している。

質問 地域住民の理解が得られるよう、交付金を原資に外部資金を獲得する努力も必要。市職員の研修参加は能力形成上、どのような効果を生んだか。

部長 個人ごとの効果検証は実施していない。職員は現場での体験を通して能力を付けている。



市民活動人材育成事業の様子

【一般質問】

子宮頸がんワクチンの
早期周知啓発を求めろ！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 昨年11月12日、26日、厚生労働省の専門部会にて積極的勧奨を中止していた子宮頸がんワクチンについて、接種の呼び掛けを再開することが決定された。再開の時期などについて検討することとなっているが厚生労働省の動向を受けて、市の対応を伺う。

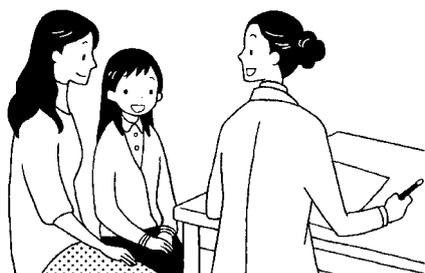
部長 現在、接種年齢である中学1年から高校1年生の対象者へ接種回数などを記載した案内文書やリーフレットを個別に送付しているが、厚生労働省通知の対応方針に基づき、令和4年4月からは個別通知による接種の勧奨に努める。

質問 接種時期を逃した年代の方々への対応や、自己負担の有無を伺う。

部長 国において公費による接種機会の提供や対象者、期間等について議論しているため、その結果を待ちたい。

質問 前倒しで個別通知を出せないか伺う。

部長 日田市医師会等との協議も行い、実施体制が早期に整った場合は早めの勧奨通知を出したい。





【一般質問】

道路沿いの緑地管理は
どのように行っているのか



公明党
松野 勝美 議員

質問 道路沿いや歩道にある樹木は、道路の景観も考えていることだと思うが、毎年一定の時期になると、道路上に落ち葉などが散乱し、樹木や植え込みの葉などが大きく伸び、車道から見通しが悪くなるところもある。交通安全対策としても、緑地管理をどのような計画で行っているか伺う。

部長 ケヤキやイチヨウなどの中高木は、一般的に休眠期となる12月以降が剪定に適しており、年1回の剪定作業の際には、信号機や道路標識等の支障となる枝葉を強剪定するなど、状況に応じた対応を行っている。

質問 どのような対応を行うかについては景観などに様々な考慮があると思うが、危険性があ

る場合などは、地元の意見も参考にしながら更新計画のときに検討すべきと思うがどうか。
部長 更新計画時には、住民の方の負担を少しでも軽減できるように、検討していきたい。
質問 この他、国の経済対策について、コロナに負けるな！商品券発行支援事業について、通学路の安全対策など質問した。



剪定された市道沿いの樹木

【一般質問】

早急なパートナーシップ
宣誓制度の導入を



市民クラブ
溝口 千壽 議員

質問 講演で「性、セクシユアリテイの多様性」を聞いた。人は異なる性の有り様を持っており様々な結び付けがある。しかし日本では同性による婚姻は認められておらず、他にも多くの制約がある。これらの制約を解消するのが、パートナーシップ宣誓制度と述べていたが、この制度が多くの自治体で進められている現状について伺う。

部長 この制度は、性的マイノリティの方々を抱える生きづらさを解消する仕組みと認識している。この制度は法律としてのものではなく自治体が制度設計するもので全国に広がり、130の自治体で導入されている。デメリットもあるが、導入により自分らしく生きていくことができ

きる社会を作る一助になると考えている。先行する自治体を参考にし、導入に取り組む。
質問 この問題で悩みを抱えている人たちは日田市でも多くいるのではないか。早急に制定する必要があると考えるがどうか。
部長 いつ頃の導入かということだが、ゼロからの出発であり、準備から大体1年位と考えている。





【一般質問】

天ヶ瀬温泉街の復興に向けて



新世ひた 飯田 茂男 議員

質問 温泉街の復興に向けた将来ビジョンは、地域の住民の間で共有されるものとならなければならぬ。その策定の取組と進捗状況について伺う。

部長 天ヶ瀬温泉つなぐ会議において、研修や勉強会を重ね、住民が満足できる街になるためにアイデアを出し合ってきた。将来ビジョンのたたき台ができれば、地域で検討会を実施し今年度には策定する。

質問 地域の住民の方々の関わり方や参加状況について伺う。

部長 地区班長や団体の代表者に取組内容の趣旨を説明し、地域の方にもビジョンの策定までの流れ等を伝えてきた。今後の地域での検討会は、多くの方が参加できるように取り組む。



河川改修を待つ温泉街

質問 温泉観光地としての再生に当たっては、景観形成の観点からも、その再生復活を図るべきだと考えることから、市の考え方や姿勢について伺う。

部長 景観整備は重要だと認識しているが、住民の思いや考えが非常に大切。河川改修が完了する頃には、住民や観光客が満足する街と成るよう取り組む。

ホームページのご案内

<https://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。

12月定例会の会議録は、3月上旬から閲覧することができます。



意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

○TEL 22-8214 ○FAX 22-8249

○メール gikai@city.hita.oita.jp





【一般質問】

防災ラジオのさらなる普及を



公明党 坂本 茂 議員

質問 防災ラジオの申請率は7割弱で、7000台以上が在庫となっている。普及に向けた協議などは行っているのか。

部長 防災メールや屋外スピーカー放送など他の手段があるとか、災害の危険性が低い場所に住んでいるなどの意見もある。市民に等しく情報を提供したいので、個別の自治会との協議を含めて、取組を進めていきたい。

質問 災害時に障がい者の方と意思疎通が図れるツールとして防災スクープの活用ができるが導入は検討できないか。

部長 様々なツールがあるので避難所での使い方などを、自立支援協議会で検討したい。



防災ラジオ

教育次長 無気力や不安、生活リズムの乱れなど、本人に係る状況によるものが多く、親子の関わり方という家庭の状況なども要因となっている。

質問 今後の取組について何う。
教育長 教育機会確保法ができ、不登校は問題行動ではないという見解が示されている。今後は、児童生徒の個性を見守りながら伸ばし、学校、家庭、教育委員会等が一体となり、自立に向けて支援をしていきたい。

【一般質問】

日田市公共施設等総合管理計画について



市政クラブ 原田 裕文 議員

質問 総務省通知における公共施設等総合管理計画の見直しに伴い、今後どのような対応を予定しているか何う。

部長 総務省の策定指針の記載すべき必須事項等で、本市の総合管理計画に記載のない事項を追加し、変更を加えて令和3年度中に見直しを行う。

質問 公共施設管理等で必要な設計図面が、設計事務所の廃業等で廃棄される状況への対応を何う。

部長 図面については、紙データから電子データへの移行を進めており、施設維持管理に必要な図面については、業界団体と情報交換を進め、当該設計事務所との個別協議により譲り受けたい。



日田市公共施設等総合管理計画

上手地区の道路整備について

質問 上手地区の道路事情をどう把握し、今後どのように道路状況の改善を進めていくか何う。

部長 各地域からの要望に基づいて、職員が現地を確認し、道路利用状況等を調査し、現状を把握して、緊急性や経済性等を総合的に判断し、可能なものから改善に努める。上手地区も同様の対応をとる。



【一般質問】

介護保険の
低所得者負担軽減策、
見直しの影響は



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 介護保険の低所得者負担軽減制度の見直しは、何人に及んでいるか。また最大でどのくらいの負担増か伺う。

部長 施設入所者やショートステイ利用者の食事や居住費について、住民税非課税世帯の年金収入などを3段階に分け、負担を軽減している制度が今年8月から見直された。見直し後の対象者は、申請が733件でその内訳が第1段階32件、第2段階282件、第3段階の1が159件、第3段階の2が196件、対象外が64件。施設入所者は第3段階の2で、1カ月2万2千円の負担増になる。要介護5の人で特養入所者の場合、対象から外れると1カ月当たり4万6200円の負担増となっている。



質問 加齢性難聴者の補聴器購入費を助成する自治体は全国で50弱ある。日田市も制度を作っているかどうか。

部長 難聴が認知症機能低下に関連があることは報告されているものの、補聴器を使用することで認知症の予防にどの程度寄与するか明らかではないので国の動向を注視する。

【一般質問】

日田市の
基金の積立目標額や
管理方針について



新世ひた
三苫 誠 議員

質問 基金の適正保有額をどのように考えているか。

部長 財政調整基金等基金の適正保有額については、国の示す基準はないが、大規模災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、不測の事態における財政支出に備える必要があるため、一定額を保有しておく必要がある。

質問 基金の積立目標額は、どの程度か。

部長 財源不足を補う財政調整基金、財政調整的な意味合いも持つ減債基金、災害対策基金、他一基金を含めた4つの基金の合計額を市の経常的一般財源の規模を示す標準財政規模211億円の30パーセントとなる63億円を確保したい。令和3年5月



末での4基金の残高合計額は約68億円となっている。5年後は約60億円を見込んでおり、概ね目標額を維持できると考える。

自治組織への地域課題解決支援
質問 地域課題の解決に対応できる支援策等を考えているのか。

部長 自治活動等交付金交付要綱など制度設計を見直し、必要なことに対応していきたい。



【一般質問】

ふるさと納税、
親孝行チケットを
考えては！



市政クラブ
梅原 竜也 議員

質問 昨年のふるさと納税の寄附額は、水害等もあり5億4481万8977円であった。今年度の寄附額及び人気の返礼品について伺う。

部長 11月末時点で2億7199万円。返礼品の種類は300種類で人気返礼品は、炭酸水、ノンアルコールビール、水、合わせみそセット、日田梨等の順番である。

質問 米子市の返礼品に、2万円3千円の寄附で温泉旅館の入浴券4枚とタクシーチケット6千円分が両親等に送られるものがある。この返礼品を受け取った母親は、施設に入院中の夫に会いに行ったとのこと。日田市においてもこのような親孝行ができる返礼品を考えてはどうか。

部長 日田市は、水やビールといった物が主流で送料が高いという課題もある。親孝行プラン的な内容で送料が安価なチケット等は、経費の削減につながるのでそういった商品等も取り組んでいきたいと考える。

質問 この他、小中学校のタブレット端末の使用、期日前投票、市税等のキャッシュレス（スマホ）納付について質問した。



日田市のふるさと納税ガイド

第1回(3月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

3月 1日(火)	本会議 (議案説明)
7日(月)	本会議 (代表質問)
8日(火)	} 本会議 (一般質問)
9日(水)	
11日(金)	本会議 (議案質疑)
14日(月)	委員会 (3年度分)
15日(火)	本会議 (//)
16日(水)	} 委員会 (4年度分)
~	
18日(金)	
22日(火)	
25日(金)	本会議 (//)





報告

各委員会の
議案等の審査結果

● 総務環境委員会 ●

予算総額411億6693万
7千円（昨年同時期515億
9950万9千円）

● 歳入・歳出それぞれ21億57
37万2千円を追加

歳入補正は、新型コロナウイルス接種事業（3回目）、公共土木施設や農地、林地等の災害復旧事業、新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世帯に対する生活支援に係る臨時特別給付金を現金で一括給付するための国庫支出金や県支出金、市債などの増額です。

● 歳出補正の主な事業

会計年度任用職員人件費の補正（2590万5千円）は、コロナ禍への対応等のため1122名から1174名に増員するものですが、会計年度任用職員への研修は、年1回の人権研修

を含めた接遇研修しか行っていないことから、正規職員と同様に市民サービスの向上につながる接遇研修の充実を図るよう要望しました。

防火水槽設置事業の補正（151万3千円）は、大山町続木の既存の防火水槽内に汚泥が堆積していたため、その処分費を増額するものです。審査では、市内513か所ある防火水槽の管理について、市管理や地元管理が混在しており、全体の管理状況が把握できていないことが判明。消防活動に支障をきたすことが懸念されるため、自治会や消防団の協力を仰ぎ適切な管理に努めるよう要望しました。



汚泥が堆積した防火水槽

● 教育福祉委員会 ●

中津江ホール解体へ

今定例会では、中津江ホールを解体し跡地を福祉施設用地として整備するため、同ホールの設置及び管理に関する条例を廃止する議案の提案がありました。審査では執行部から、中津江

の代表者会議と協議を重ね、高齢者福祉施設及びこども園の基本設計を作成したことや、住民説明会の開催により合意形成が図られたとの説明がありました。これらを踏まえ委員からは「ホ

ールを解体しなくても、周辺施設の敷地を活用すれば施設配置ができる」とする反対意見や、「

本年3月以降、地元住民と福祉施設建設の協議が整い、ホールの解体についても合意がある」とする賛成意見が出され、採決の結果、多数をもって原案のとおり可決しました。

また、継続審査としていた「中津江ホール解体・廃止方針の再検討と同ホール存続に関する請願書」については、今後の地域福祉の向上、人口減少、超高齢化社会への対応などを総合的に検討し採決を行った結果、賛成少数により不採択となりました。「子育て世帯への臨時特別支援事業」はコロナ禍における子育て世帯の生活を支援するため、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、対象児童一人につき10万円を支給するもので、支給対象者への案内や周知の徹底を図り、支給漏れがないように要望しました。



中津江ホール



●産業建設委員会●

山田原及び周辺地域の悪臭低減に向け、継続した対策を要望

●畜産施設環境対策事業

(新規227万1千円)

山田原及び周辺地域の悪臭低減に向けて、養豚業者が行う臭気低減対策の費用の一部を助成するものです。

今回実施される対策は、専門機関の調査結果を踏まえて提案された改善策をもとに、遮へい壁の設置と消臭剤の散布を行うものです。これらの対策の実施後には効果を検証し、より有効なものへと改善していくことが必要であることから、関係機関で連携し、継続的な対策を行うよう要望しました。

●地域消費喚起プレミアム商品券支援事業

(新規2億991万5千円)

新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい状況にある地域

経済の消費拡大や活性化を図るため、県と連携しプレミアム付商品券を発行するものです。

今回は紙商品券と電子商品券のプレミアム率を30%に統一した販売となります。また、既に実施されている商品券の販売状況(12月中旬時点)は、紙商品券は完売していますが、電子商品券は7割程度でした。プレミアム付き商品券の発行は重要な景気刺激策であり、商品券が完売する取組を実施するよう要望しました。また、電子商品券は市外の方も利用できるため、観光振興と合わせた市外向けの周知も要望しました。



議会の動き

JR天ヶ瀬駅の無人化の撤回を求め要望書を提出

JR九州は久大本線天ヶ瀬駅の体制を見直し、3月12日(土)より駅を無人化すると発表しました。



無人化が発表された天ヶ瀬駅

このことは、地域住民の日常生活における駅利用時の安心・安全の担保への懸念、また、天ヶ瀬駅は特急列車が停車する駅でもあることから、観光交流等にも多大な影響があるのではないかと危惧されます。

さらに、天瀬地区については令和2年7月の豪雨により被災し、なかでも天ヶ瀬駅を最寄り駅とする天ヶ瀬温泉街は甚大な被害を受けており、現在、復旧・復興に向けた取組を進めています。

この大きな災害から立ち直るため、地元住民と行政が一体となって取り組んでいる最中に天ヶ瀬駅が無人化されることは、復旧・復興に向けた取組に水を差すものであり、到底受け入れられるものではありません。

よって市議会は1月17日(月)、JR九州に対し、市長との連名で、JR天ヶ瀬駅の無人化について撤回するよう、要望書を提出しました。



要望書を読み上げる原田市長と石橋議長



日田玖珠議長会議員研修会
へ参加

この研修会は、日田市、玖珠町、九重町各議会相互の連携を図るため、毎年、実施しているものです。昨年はコロナ禍により開催を見送りましたが、今年は11月11日（木）に、九重町で開催することができました。

今回の研修会では、大分大学 減災・復興デザイン教育研修センターの鶴成悦久次長よしひさより、「大分県で発生した自然災害からの教訓」と題し、令和2年7月豪雨を振り返り、大分県西部地域におけるこれからの留意点などについての講演を拝聴しました。近年、全国的にも想定を超える災害が頻発していますが、早期避難につながる訓練や、ハザードマップを活用した平時からの備えなど、改めてその重要性を認識しました。

議員相互間の自由討議を
実施

この取組は、様々な課題について議論し、今後の議会活動における条例提案や政策提言の能力を高めることを目的とするもので、12月10日（金）に実施しました。

今回は2人の議員からそれぞれ、①「子どもの居場所づくりと子育て家庭への支援について」と②「議会活動の見える化を考

える」として提案があり、意見を発表・提起し、その提起に基づき議員間で活発な討議が行われました。今回の問題提起を受けてのまとめとしては、①については児童福祉等を所管する教育福祉委員会で、②については議会全体として引き続き議論を重ね、方向性を見出していくこととなりました。どちらの議題も、今後の市議会の取組において大きな意味を持つものであり、大変有意義なものとなりました。



公職選挙法(寄附行為)に関するQ&A 虚礼廃止にご理解とご協力を!

- Q** 議員が、親族以外の選挙区内の市民へ、寒中見舞い等、時候の挨拶状を出すことはできますか。
- A** 答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。自筆とは、議員本人の肉筆であって、パソコン等による裏面印刷のものは、自筆とは認められません。
- Q** 議員の配偶者等の親族が、葬式に代理出席し、議員の香典を届けることはできますか。
- A** 議員本人が出席する場合は禁止されていませんが、代理出席の場合は、罰則をもって禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や地区の祭などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すことや親族以外へ贈るお歳暮・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。
また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。



表紙のみなさん

日隈小学校の金管バンドが、昨年11月に大阪城ホールで開催された全日本小学生バンドフェスティバルで銀賞を受賞。今回は、指導教諭の本河毅先生にお話を伺いました。

どんな大会でしたか

全日本吹奏楽連盟が主催する小学生最大の全国コンクールで、全国の各支部大会を経て35団体が出場した大会です。本校は九州支部のマーチングスタイル1位として出場し、今回で6回目になります。

今回はコロナ禍の制約からの解放をイメージし、空の大冒険の物語を作って演奏しました。

コロナ禍の中の練習の苦労は

部屋の換気や検温、楽器の消毒、他人の楽器には触れないことを徹底しました。また練習は広い場所が必要ですが、総合体育館が改修等のため使用できず、うきは市の会場を借りました。

しかし、その会場もコロナ禍で使用禁止となり、真夏の日田市陸上競技場で、20分の練習と、20分の休憩を繰り返しました。子どもたちは練習もよく頑張りました。マーチングが好きなので、自分たちで演奏し何かを表現する、それが頑張れる要因です。



練習風景

下級生は上級生に近づくために頑張る、上級生は下級生に教える。また、休みになると卒業生が見に来て教えてくれる。これが伝統のようになっています。

参加した子どもたちの様子は

ステージに上がる前は緊張し

て泣き出す子どももいましたが、ステージ上では、練習の成果もあり、のびのびと演奏ができました。終わったら笑顔で「楽しくできました」と言いながら涙を流していました。また出場したいと言っていきます。大会に出場して子どもの考え方が前向きになり、下級生がぐっと伸びてきた感じがします。経験が自信になったのでしょうか。努力することの大切さを感じてほしいと思います。大会参加のためにご支援いただいた市民の皆様、保護者の皆様にお礼を申し上げます。また、2月27日(日)にはパトリア日田にて定期演奏会を行いますので、成長した子どもたちをご覧いただければと思います。



年末のミニコンサート

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大により2年間にも及ぶバンドミックは、市民の暮らしや営業、子どもたちの学びの場にも大きな影響を与えています。

そのような中、日隈小学校金管バンドは懸命に練習に取り組み、全国大会でも素晴らしい結果を残したことは、子どもたちのこれからの学校生活において、確かな糧となったのではないのでしょうか。取材をさせていただき感動しました。

オミクロン株の猛威により感染が拡大していますが、これまでも同様に基本的な感染対策の徹底が重要です。

(議会報編集委員会委員

大谷 敏彰)



市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

